



《将来に向けた取組方針》

岩手銀行グループは、サステナビリティに関して策定している次の方針のもと、生物多様性・自然資本の保全・再興に貢献する事業活動に取り組んでまいります。

- 豊かな自然環境を有する岩手県を主たる営業地盤とする企業グループとして環境に配慮した経営を実践し、経済成長と環境保全の両立を目指します。
- 違法な森林伐採や生物多様性を毀損する案件への融資はいたしません。

〈主な取り組み〉

1. 漆の植栽活動～「いわぎん漆の郷」への植栽

岩手県二戸市において2017年度から漆の植栽活動を実施しています。2023年度までの植栽総本数は540本となり、地域の自治体・住民の協力のもとで保全・管理を行っています。

2. 「生物多様性のための30by30アライアンス」への参画

2023年10月より、2030年までに陸と海の30%以上を健全な生態系として効果的に保全しようとする目標である「30by30」のアライアンスに参画しています。

3. 「Jブルークレジット」の販売仲介業務

2023年2月、岩手県洋野町と住友商事東北との間で海藻が生い茂る「藻場」の創出・保全を目指した包括連携協定を締結し、邦銀初となる洋野町の増殖構を活用したブルーカーボンの販売仲介業務に取り組んでいます。

4. 盛岡城跡公園自然環境保護活動の支援

自然環境の保護に取り組む盛岡市内小中学生の活動^{*}をグループ会社のmanordaいわてにおいて支援しています。

※第3回 大ザリガニ釣り大会:外来種アメリカザリガニの駆除により城址公園内の池の生態系を取り戻す取り組み～2023年7月開催:
参加者(協力者含む)220名